

令和5年度 議会広報特別委員会視察報告について

委員長	小野 壽義
副委員長	小坪 輝美
委員	黒岩 重彦
委員	甲斐田典彦
委員	橋間 順平
委員	深川 博英

視察日：令和5年5月8日（月）

視察先：福岡県三井郡大刀洗町

視察内容：議会だよりの作成手法について

視察内容

大刀洗町の「議会だより」は全国の町村会「議会だより」で毎年上位にランクされ、各市町村からの視察が多い「議会だより」です。

大刀洗町は議会モニター制度を設置され、議会が終わるとモニターとの意見交換会も行われています。

まず「議会だより」特徴として、表紙は必ず記事の内容にあった写真を使用しています。また、「町民の声」や「市民との意見交換会」「新有権者の声」を取材し、町民を中心に取り扱われ、「議長通信」も記事にして町民の目に留まるような方法、方策が取られています。議会の内容報告も豊富で、特に定例議会の主な議案、例えば3月議会であれば、年度の当初予算の内容を明細に記載、町民に分かりやすく説明されています。

そこで、大刀洗町議会だよりが出来るまでについて説明いたします。まず、定例会前に議会広報特別委員会で企画や日程の調整をし、定例会が終了後に委員会を開き、まずレイアウトを決めます。レイアウト決定後は一般質問や記事の担当ページを決めます。そして、討論や採決などを空きスペースに文章化して印刷会社へ渡します。

また、討論の記事は賛成、反対討論を行った議員に作成しています。これにより、誰が行ったかを明確にし、議員の意志が分かるようにしてあります。

校正会議も3回行ない、必要に応じ修正や原稿の追加、またレイアウトの整理などをして、数値や答弁内容などは行政側のチェックを受けています。この様な過程を行い正副委員長で最終校正をして、議長の決済で印刷されています。

議会終了後にモニターとの意見交換会や町民との意見交換会など多くの町民の声を行政に伝えています。このような議員活動は、とても重要なことと思います。また、この様な工程で行われている大刀洗町の「議会だより」は、議員全員が議会報告委員会のメンバーのように感じました。

今回は「議会だより」の作成手法を視察に行きましたが、議員の姿勢やチーム議会を学ばせて頂いたように思います。

これを機に、小郡市議会も諸先輩がこれまで作成されてきた「議会だより」を尊重しながら、今後は新しいチーム小郡市議会「議会だより」の充実を図り、「議会だより」を通じて市民に議会の在り方を示していくように努めなければならないと強く感じました。